

一関市社協

ふれあいネットワーク

藤沢支部だより

一関市社会福祉協議会藤沢支部
ヘルパーセンター藤沢
訪問入浴センター藤沢
介護支援事業所藤沢

- 支部事務所
藤沢町藤沢字町裏55
☎0191-63-5122
☎0191-63-2936(ヘルパーセンター)
- 発行
令和2年12月

住民参加による支援活動の実践 ライフヘルプサービスとの連携



地区内民家周辺の草刈り作業で汗を流し休憩中の「13区お助け隊」の皆さん

夏場の草刈りをはじめ、これから始まる冬期間の雪かきなど、高齢者世帯や障がい者世帯のちょっとした生活の困りごとに対して、地域の方々はすでに個人やグループで支援活動を行っています。

藤沢支部の事業として進めているライフヘルプサービスでは、そのような支援者の方にボランティア保険の加入を行うなどし、活動しやす

いようにと応援しています。

写真の13区お助け隊の皆さんには、全員で協力会員登録をしていただきました。

地域で行う「支え合い活動」は、これといった決まりがある訳ではなく、誰もが無理なく行える範囲で活動しましょう。個人でもグループでも、協力会員登録は簡単にできますので藤沢支部（☎63-5122）にご相談ください。

【この広報は、皆様からお寄せいただいたご寄付や、赤い羽根共同募金からの助成を受けて発行しています】



令和2年度に行った藤沢支部事業を紹介します

赤い羽根共同募金は事業費へ

皆さんからお寄せいただいた赤い羽根共同募金は、岩手県共同募金会を通じて、翌年度、実績に応じた額が藤沢支部にも事業費として配分されます。市の補助金や社会福祉協議会の会費、皆様方からお寄せいただいた寄附金と併せて予算化し福祉事業にあてられます。今年度はコロナ禍の中感染防止対策を行いながら、皆さんの協力により各事業を実施することができました。



◆孤独感の解消と健康の増進

ひとり暮らし高齢者の集い（9月29日）



ひとり暮らしをされている高齢者の皆さんの日頃感じている孤独感を解消したり、健康を増進する目的で集いを開催し、今年度は27名の参加がありました。

例年は会食を楽しみながら小旅行を行っていますが、新型コロナウイルスの影響で内容を変更し、縄文ホールでの開催としました。当日は、藤沢支所保健福祉課の協力をいただき、及川保健師からの健康講話により、足腰が衰えない生活の工夫等を学び、映画鑑賞会では綾小路きみまろのお笑い漫談で楽しいひと時を過ごしました。準備した寿司弁当は持ち帰りとし、自宅で楽しんでいただきました。

◆藤沢中学校生徒会がボランティア活動

福祉交流まつり（10月31日～11月1日）



福祉交流まつりは、令和2年度明日を築く藤沢地域産業福祉文化祭の福祉部門として開催しました。藤沢中学校生徒会と藤沢町民生児童委員協議会が協力してイベント募金に取り組みました。会場に訪れた子供達へ赤い羽根風船を無料配布するなど、地域の皆さんと交流しながら募金活動を行い、20,482円の募金が寄せられました。藤沢中学校生徒会から参加いただいたのは、近江美咲さん、菊地真輝さん、橋本穂菜実さん、村上桌先生でした。

各コーナーで参加してくれた団体は次表の通りです。

イベント内容	参加団体
展示コーナー	光栄荘、ふじさわデイサービスセンター、グループホームやまばと、老健ふじさわ、デイサービスゆうゆう、デイサービスセンター白藤、ふじの実各施設、上町地区いちご会、やまびこの会、33（ササ）ティサロン、すみれの会（藤沢支所保健福祉課）
福祉施設等販売コーナー	ワークジョイかわさき、ちくちく工房、一関市身体障害者福祉協議会藤沢支部
赤い羽根共同募金コーナー	藤沢中学校生徒会、藤沢町民生児童委員協議会

◆障害者の社会参加を目指して

障害者交流事業ふれあいの翼（11月5日）



ふれあいの翼は、障害を持つ皆さんが交流を行うことで、社会参加や親睦につながることを目的に毎年開催しています。今年度はコロナ禍の中、ひと通りの感染防止対策をとりながら小旅行を実施しています。

この事業は一関市身体障害者福祉協議会藤沢支部と共催で行っており、当日は9名の方が参加し、大船渡市五葉温泉で楽しいひと時を過ごしました。新型コロナの終息を願いながら、早くも次年度の集いについて思いを馳せていました。

◆結婚50周年を地域で祝う

第24回藤沢町金婚を祝う会（11月27日）



縄文ホールステージ上で集合写真の撮影

コロナ禍の中、今年度は縄文ホールでの開催となり、当日は、11組のご夫妻に参加いただき、最初におふたりの記念写真を撮影、次に夫妻全員の集合写真撮影を行いました。

この祝う会は、結婚から50周年を迎えたご夫妻を地域で祝福し、今後とも健康で活躍されることを願い開催するもので、式典ではご来賓から祝辞をいただいた後、ご夫妻の紹介と続きます。

アトラクションでは、若柳流梅寿会の皆さんによる祝舞に続き、昭和の映像を鑑賞しながら岩渕富士子さん（保呂羽）によるピアノ生演奏で当時の記憶を振り返りました。



町内写真館の協力により記念のアルバムを作成します。後日福祉委員さんを通じてお届けします。



参加したご夫妻を代表して和田一雄さんは、結婚から50年間の思い出を振り返り、「妻（幸子さん）には、とても苦勞をかけた。これからは健康に気をつけながら、恩返しをしていきたい」と自身の決意を添えながら謝辞を述べました。

まごころ寄附

「地域福祉に役立ててください」と次の方々からご寄附をいただきました。心から御礼を申し上げます。

◆6月1日～11月30日受付分◆

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ・佐藤吉雄様 (藤沢字吉高) 100,000円 | ・須藤涼様 (大籠字権ノ森) 100,000円 |
| ・及川浩様 (大籠字田ヶ谷) 50,000円 | ・伊藤昭弘様 (黄海字大橋) 100,000円 |
| ・須藤淳様 (大籠字青松) 100,000円 | ・畠山文子様 (徳田字馬場) 100,000円 |
| ・30友の会様 (佐々木林様) 18,300円 | ・三浦洋悦様 (徳田字揚戸) 6,920円 |
| ・阿部吉松様 (西口字荒巻) 50,000円 | ・千葉隆一様 (黄海字本沢) 100,000円 |
| ・佐藤鉦一様 (徳田字山口) 100,000円 | |

赤い羽根共同募金

～学校募金の取り組みから～

♡地域福祉事業のために、赤い羽根共同募金（新沼小学校児童会）

～じぶんの町を良くするしくみ～

11月17日（火）新沼小学校児童会で取り組んだ学校募金（総額12,468円）を朝会が行われた同体育館で受領しました。

受領した募金は、一旦県の共同募金会へ送金します。そして次年度の事業計画に従って配分金を受け事業費となります。とても大切な福祉活動の財源になっています。

藤沢地域の主な共同募金配分金事業は、ライフヘルプサービス、金婚を祝う会、ふれあいサロン、小地域福祉推進事業、福祉交流まつり、ひとり暮らし高齢者の集いなどです。



朝会で募金の紹介をした児童会長の佐藤由奈さんと役員の皆さん

♡地域の方々のために、歳末たすけあい募金（黄海小学校児童会）

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

11月12日（木）黄海小学校児童会ボランティア委員会から学校募金を受領しました。児童全員が取り組んだ募金は、総額16,023円でした。

歳末たすけあいの歴史は古く、戦前戦後の貧困世帯を、新しい年を迎える年の瀬に「たすけあおう」という精神で国民全体の運動として募金活動が行われてきました。何かがきっかけで誰もが社会的弱者になりうる時代では、互いに助け合う気持ちが大切です。藤沢地域においても貴重な活動になっています。



校長室で佐川勝弘藤沢地区募金事務所長に募金を手渡すボランティア委員会伊東洸璃さんと委員の皆さん